

NPO 法人建築ネットワークセンター

東日本大震災被災地視察報告

津波・原発・液状化を考えるつどい

3月11日に宮城県沖でマグニチュード9の巨大地震が発生し、地震・津波・原発などで大きな震災を被りました。あらためて亡くなった方のご冥福と被災した方々にお見舞いを申し上げます。

建築ネットワークセンターは、ただちに「対策委員会」を設置し、救援復興募金、被害に対する相談活動、被災地への視察・調査活動を行ってきました。3月22日、千葉県浦安市の液状化被害、3月31日、千葉県旭市の津波による被害、4月5日～8日宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市・大船渡市・釜石市・宮古市・久慈市など津波による壊滅状況を視察しました。

その中間報告といま大きな不安をいただいている原発問題などをみなさんとともに考えていくため、下記のような「つどい」を開催することにしました。マスコミでは報道していないことについても報告する予定です。

ぜひ、お集まりください。お待ちしております。

と き

6月4日（土）

午後1時30分開場、2時開会

4時30分閉会予定

ところ

大久保地域センター3階A会議室

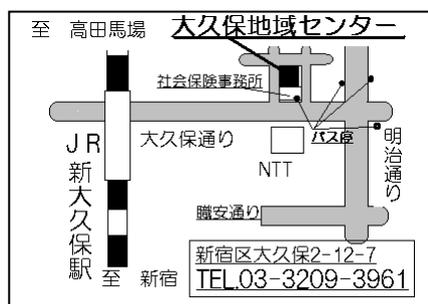
新大久保駅から徒歩8分

会 費
主 催

500円（資料代）

NPO 法人建築ネットワークセンター

電話03-5386-0608、FAX05386-1065



報告者

1. 岩手・宮城被災地視察報告…藤井勝明一級建築士
2. 浦安市液状化・旭市津波被害視察…荻野広己一級建築士
3. 地盤と液状化について…小松田精吉工学博士
4. 原発問題の現状と今後の対策について（仮称）要請中